



學 穂

(ほかく)

令和 8 年度 広州日本人学校

学校だより No.5

令和 8 年 7 月 23 日

発行責任者 校長 大久 耕

ご家庭の皆様のご協力に感謝いたします



児童生徒会役員が、児童生徒の声を直接聴いた「葉月の部屋」

本日、第 1 学期終業式を実施しました。令和 8 年度は、小学部 46 名、中学部 21 名の新入生を迎え、321 名でスタートしました。4 月の始業式では、「和顔愛語」という言葉をとりあげ、子供たちに笑顔と優しい言葉を交わし合いながら学校生活を送ろうと話をいたしました。

開校から 32 年目を迎え、本校を取り巻く状況も変化してきています。開校当初からコロナ禍前までは、人数が増え、学校の規模は拡大の一途でした。コロナ収束後、一旦子供たちの人数は戻ったものの、現在は維持～減少に転じています。状況の変化に合わせて、教員も児童生徒会も「未来の JSG」を日々ともに考えています。これまでの取組を見直し、もっと児童生徒の意見を取り入れられるようにしたい。そのためにどうすればよいかを考え、試行錯誤を続けています。

先日、児童生徒会が「葉月の部屋」を実施しました。児童生徒会役員が、児童生徒の意見を直接聞いたり、児童生徒会についてもっと知ってもらったりするための取り組みで、とても多くの子供たちが集まりました。これも「水筒」の件同様に、児童生徒会による発案です。

新しいことに挑戦する中では、子供たち同士、ときにはけんかもあります。教員から指導を受けることもあります。中学生ともなれば、生徒同士、または教師と意見が食い違うこともあります。しかし、私たち教員一同は、これからも保護者の皆様とも、子供たちとも誠実に対話を重ねながら、信頼関係を構築し、子供たちの未来のために 2 学期も指導・支援に努めてまいりたいと考えています。

1 学期間の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、2 学期もどうぞよろしくお願いいたします。

【全 校】音楽発表会（7 月 3・4 日）

7 月 3 日、4 日の両日にわたり、音楽発表会を開催しました。多くの保護者、来賓の方々にご来校いただきました。ありがとうございます。

今年度は、コロナ禍以降初めて全学年の演奏を鑑賞できるように、日程や発表時間の調整を行いました。また、「校歌」の全校合唱も取り入れ、これまで以上に、発達段階や学年の違いによる子供たちの成長や本校の活動について知っていただけるように工夫いたしました。

子どもたちも、日頃の練習の成果を十分に発揮できたのではないかと思います。会場内の席の入替えなど、保護者の皆様にもご協力をいただきましてありがとうございました。なお、いただきました感想につきましては、子供たちにも共有し、またご意見につきましては内容を検討し、今後の運営に生かしてまいりたいと思います。



【全 校】図書展示会（7月14日～16日）

7月14日～16日まで、郁葉文化生活様のご協力により、新刊を中心とした図書の展示会を実施しました。この展示会で子供たちから支持の多かった書籍は、学校図書館に納入される予定です。また、今年度から希望者には書籍の販売も実施いたします。

学校では、毎月の図書ボランティアによる読み聞かせ活動（小学部）や定期的な読書時間の設定など、子供たちが本に触れる機会をこれからも大切にしていきます。ぜひ、夏休みには多くの本に触れていただければと思います。



【PTA】JSG 夏祭り（7月18日）

7月18日 PTAの主催によるJSG 夏祭りが行われました。前の週には、子供たちが「たこ焼きはある?」「かき氷食べに行く?」「今年のラッキードローの賞品は?」と多くのことを話題にする声が、休み時間に学校のあちらこちらから聞こえてくるほど、楽しみにしておりました。

当日は、暑すぎることもなく上々の気温。子供たちにとって最高に1日となりました。

開催までに、一生懸命ご準備いただきましたPTA役員の皆さん、おやじの会のメンバー、たくさんの景品等を提供いただきました各企業・団体様、そして当日小学生を楽しませるために頑張っていた中学部ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



【全 校】校内に展示されている作品



先週末から今週にかけて、個人懇談で多くの保護者の方に来校いただきました。授業参観など、保護者の来校予定がある時には、子供たちの学習の成果物（作品）を出来るだけ多く展示し、見ていただけるようにしています。

お子さんの作品を見ていただくことはもちろんですが、各教科の学習では、どの学年でも同じ時期に同じような内容を学習するように、教育課程が構成されています。ぜひ、他の学年の教室にも足を延ばしていただき、学年ごとの成長も感じてください。

学校長日記

学期末になると、多くの子供たちが本校を離れていきます。仕方がないこととはいえ、やはり誰もが寂しい思いをします。でも新しい出発は、希望とともにスタートすることが大切です。ここでの学びが、友との友情が、日々の生活の中での経験が、少しでもこれからの子供たちの生活の支えになってくれることを願っています。何年か後に、お互いに成長した姿で会えることを楽しみに、本校から飛び立って行ってください。ここで学んだ皆さんは、これからもずっと仲間だよ！